

技能実習の現場から② 実習実施者編

わらべや日洋株式会社 岩手工場を訪ねて

今回は、惣菜職種での技能実習生を受け入れ、大手コンビニエンスストア向けに弁当、おにぎり、惣菜等を調理・製造されているわらべや日洋株式会社 岩手工場を訪ねました。東日本事業本部の今岡和信東北事業部長、岩手工場の和田洋工場長（技能実習責任者）、津狩昌治管理課主任（生活指導員）にお話をうかがいました。

2015年に技能実習2号移行対象職種として追加された「惣菜職種」とは、大量製造用調理機械を使用し、食材原材料の下処理、炊く、茹でる、揚げる、炒める、煮る、焼く、蒸す、合（和）える等の調理加工及び殺菌処理等により惣菜加工品を製造する作業をいう。



わらべや日洋株式会社 岩手工場

プロフィール

▶ 会社概要

- 会社名 / わらべや日洋株式会社
- 所在地 / 東京都新宿区富久町13-19
- 設立年月 / 1964年3月

- 代表取締役 / 大友 啓行
- 従業員数（連結） / 2,185名（2018年2月末日現在）
- 臨時従業員数 / 13,103名（1日8時間労働換算）

▶ 事業所概要

- 会社名 / わらべや日洋株式会社 岩手工場
- 所在地 / 岩手県北上市相去町大松沢1-107
- 監理団体 / 協同組合アシスト

貴事業所の概要についてお聞かせください。

今岡事業部長 当社岩手工場は2015年の5月から稼働しており、弁当、おにぎり、寿司やパスタ等の惣菜の調理を行っています。大手コンビニエンスストアの北東北エリア456店舗（2018年8月末時点）向けに1日最大25万食を製造しています。現在、正社員約70名・パート職員約610名で工場を運営しています。技能実習生はフィリピンから48名の女性が在籍しています。

技能実習生を受け入れることになったきっかけと、これまでの実績について教えてください。

和田工場長 元々会社としては企業単独型で中国の合弁企業から技能実習生を受け入れていました。当工場では以前からフィリピン人のパート職員が多く在籍していたのですが、惣菜職種の移行対象職種追加を機に、なじみのあるフィリピンからの技能実習生の受入れを開始しました。これまで、2016年12月



左から今岡和信事業部長、岩手工場・技能実習責任者の和田洋工場長

で、2016年12月

に14名、2017年1月に15名、2017年9月に19名の計48名の技能実習生を受け入れ、現在に至っています。

現在48名と多くのフィリピン人技能実習生が在籍されていますが、技能向上指導はどのようにされていますか？

和田工場長 技能実習生は、食材の選別、洗浄、皮剥き、カット等の下処理作業、大量調理機械を使用する加熱処理作業（炊く、茹でる、揚げる等）や非加熱調理作業（合（和）える等）、洗浄、消毒、殺菌等の衛生管理作業等を行っています。当工場では、食材の種類や作業の種類、さらには扱う調理機械等によって作業工程を20以上に細分化しており、技能実習生3~4名を1チームとして作業ローテーションを組み、複数名の技能実習指導員のもと、偏りなく技



技能実習の様子



技能実習の様子

能修得できるようにしています。

日勤・夜勤のシフトを合わせるため、寮の同室メンバーでチームを編成しています。技能実習生は初めての作業工程につく際や初めての調理機械を扱う場合には、何故そうするのか等の理由や背景も含め、積極的に質問してくれます。前向きな姿勢を頼もしく感じています。

食の安全・衛生に関する取組みについても教えてください。

和田工場長 安全・衛生に関する資料やDVD及び社内の看板や掲示物をすべて母国語（英語）に翻訳し、技能実習生に周知・指導しています。また、衛生監視員が入場前の毛髪チェック、手指の傷の確認、手洗いの指導等をおこなっています。チェックするポイントや手順は技能実習生の母国語でも作成し、掲示しています。HACCP[®]に基づく衛生管理についても、技能実習2号の技能実習計画に沿って管理記録の入力等を実施しています。



※食品の製造過程で発生する可能性のある衛生・品質上の危険性を分析し、安全性確保のために監視すべき重要管理点を定め、厳格に管理・記録を行うシステム。

◀ 技能実習生の母国語（英語）に翻訳された安全・衛生に関する資料

技能実習生の日本での生活支援で工夫されていることを教えてください。

津狩主任 48名の技能実習生に対し、生活指導員の私が補佐役のフィリピン人パート職員と共に、3ヶ月に一度、個人面談を実施し、技能実習と生活の両面で困っていることや

悩み事はないかを確認しています。面談結果については本社にも報告し、共有するようにしています。日常生活面では、北上市役所において、ゴミ出しのルールを母国語で作成していただき、それを技能実習生への生活指導に役立てて



生活指導員の津狩昌治主任

います。また、技能実習生が病気になった際には、JITCO作成の問診表を利用して病院にかかっています。技能実習生が日本での生活に慣れるまでは、フィリピン人のパート職員の方が一緒に買い物や病院等に付き添ってくれています。親子や姉妹のような関係に思えて微笑ましいです。

日本語学習の面では、技能実習生たちは皆日本への関心が高く、自主的に日本語を学ぼうとする意欲が旺盛で、48人全員が2018年12月の日本語能力試験に向けて勉強しています。会社としては受検費用を負担し、対策テキストを配布するようにしています。

技能実習生との相互理解や地域交流等についてのエピソードはありますか？

津狩主任 技能実習生とは岩手県の世界文化遺産である中尊寺を訪ねたり、桜の名所である北上展勝地での花見や地域のお祭りに一緒に参加しています。そのような場所では、近隣にお住まいの方と出会うこともあり、技能実習生たちは声をかけてもらうと嬉しそうにしています。



中尊寺を参拝



北上展勝地でお花見



技能実習生の誕生日パーティーの様子

また、技能実習生同士で誕生日パーティーが毎月のように開催されているのですが、そこに日本人社員も役職問わず参加させてもらうことで、職場以外でもコミュニケーションがとれているように感じます。パーティーでは技能実習生にフィリピンの手料理を振る舞ってもらい、みんなで楽しい時間を過ごしています。

和田工場長 まじめで前向きな技能実習生に対し、周りの日本人社員・パート職員による教え合い、助け合いの風土が生まれており、工場でのマネジメントの面でも良いことだと思っています。

岩手工場で技能実習を行っている6名の技能実習生(2016年12月来日)にもお話をうかがいました。

技能実習で日本に来ようと思ったきっかけは何でしたか?

「日本の文化や生活スタイルに興味がありました」

「元々フィリピンの食品関係の工場に働いていたからです。技能実習に来てみて、日本の食品工場の技術の高さに驚きました」



左から)アバニヨさん、ラビステさん、ラモスさん

「フィリピンにも食品工場があり、機械を導入している工場に働いていました。日本の食品に対する衛生面への配慮や技術を母国に持ち帰りたいです」

日本に来て大変だと思うことや、楽しいと思うことはありますか?

「日本人社員の方やフィリピン人のパート職員の方が丁寧に教えてくださるので、特に大変なことはなく、しっかり技能実習に取り組んでいます」

「日本語の発音が難しいと思います。みず(水)やみぞ(溝)など似たような発音でも意味が全く変わるので混乱することがあります。日本のテレビ番組や映画のDVDを観て、会話を少しずつ勉強しています。また、技能実習中に日本人従業員の方とコミュニケーションをとる中で覚える言葉も多いです」

「楽しいことは、日本の四季を体験することです。春は北上展勝地のお花見に皆で出かけます。工場に向かう途中で桜が咲いているのを見たり、春の気候を感じたりすると、今日も一日頑張ろうという気持ちになります。夏は浴衣を着てお祭りに出かけたり、中尊寺を参拝したりしました。また、フィリピンには冬がないので、日本に来て雪を初めて見たときは驚いて、たくさん写真を撮りました」

今後の技能実習の抱負や帰国後の夢を教えてください。

「実際にコンビニエンスストアで販売されている、自分たちが作ったおにぎりを買って食べたときは、嬉しくてすごく誇りに思いました。その気持ちを忘れず、帰国後は日本で学んだ技術を活かしておにぎりや惣菜の普及に努めたいです。そのためにも残りの技能実習生活も頑張ります」



左から)リアスさん、デリマンさん、トンガさん

わらべや日洋株式会社の本社にも訪問し、岩手工場での技能実習について、長濱康之 取締役執行役員 人事部長、佐藤裕 グループ総務部グループ人事課長、村佐英俊 グループ総務部グループ人事課主任にお話をうかがいました。

当社岩手工場にはフィリピンからの技能実習生が48名在籍しており、一生懸命技能を修得する若い技能実習生の存在が、工場の活気を生むことにも繋がっています。

岩手工場の技能実習生のほとんどが技能実習3号での5年間の技能実習を希望しており、専門級の実技試験のみならず学科ともに合格できるように工場と協力し、支援していく予定です。どの国にも大量調理による惣菜づくりの社会的ニーズはあり、食の安全・衛生の面等でも日本の技術や技

能が幅広く活かせると考えています。そのことが、岩手工場の技能実習生が5年間の技能実習を希望する理由の一つになっていると思います。

また、日本人社員も外国語を勉強して、コミュニケーション能力を一層高められるよう、本社としても外国語の通信教育メニューの充実等の環境整備に努めています。今後も外国人材に関する各種の制度変化に的確に対応していきたいと考えています。



左から)村佐英俊主任、長濱康之取締役、佐藤裕課長

監理団体 協同組合アシスト

わらべや日洋株式会社 岩手工場への技能実習生受入れをサポートされている監理団体 協同組合アシストの細田秀樹さん、岩手県担当で通訳もされている松井真理子さんにもお話をうかがいました。

プロフィール

- 組合設立年月/2006年2月
- 所在地/東京都新宿区四谷1丁目7番地
- 代表理事/立川 文人
- 監理団体許可区分/一般監理事業

送出機関の選定や技能実習生の選抜等で留意されていることは何ですか?

細田さん 送出機関は、東京にも駐在事務所があるフィリピンの Golden Gateway Int'l Manpower Services Inc. です。技能実習生の面接の際には、技能実習を終えてからのビジョンがどのくらい見えているか、またそのビジョンを母国語でいいのでどのくらいわかりやすく説明できるかというところを重視しています。

技能実習生の生活のサポートや日本語能力向上の取組みについて教えてください。

松井さん 私は毎週1回、岩手工場を訪ねて、生活指導員の津狩さんに状況を伺ったり、技能実習生に何か変わった様子はないか、困っていることはないかを確認しています。またその際は、技能実習生の寮も訪問し、非番の技能実

習生を集めて日本語の勉強会を開催しています。教材や勉強方法等について個別に相談に乗るようにもしています。

細田さん 技能実習生が寮に入居する前に、近隣の方にご挨拶に伺い、技能実習生がその地域で生活しやすいようにサポートしています。また、技能実習生には日本とフィリピンの文化の違いを説明し、トラブルが起こらないように努めています。技能実習生の悩みは、小さな事に見えてもなおざりにせず、こまめに対応するようにしています。今後もわらべや日洋様と共に、技能実習制度を取り巻く環境変化に的確・迅速に対応していきたいと考えています。



左から)松井真理子さん、細田秀樹さん(わらべや日洋株式会社 岩手工場にて)